

金曜日の説教

第一の説教

すべての称賛はアッラーに帰する。私たちは彼を讃え、彼の助けを求め、彼の赦しを請う。私たちの魂の悪と行いの悪からアッラーに避難を求める。アッラーが導く者を惑わす者ではなく、アッラーが迷わせる者を導く者はいない。私は、アッラー以外に崇拜に値する神はいない、彼は唯一で、共同者を持たないと証言し、ムハンマドが彼の僕であり使徒であると証言する。アッラーよ、彼とその家族、そしてすべての仲間に祝福と平安と恩恵を授けたまえ。

私はあなた方、アッラーの僕たち、そしてまず自分自身に、全能のアッラーを畏れることを勧める。それは我々以前の人々に対する彼の命令であり、我々に対してもそうである。全能のアッラーはこう仰る：

「**我々はあなた方以前に啓典を与えられた者たちとあなた方自身に、アッラーを畏れるよう命じた**」（アン・ニサー：131）。

ムスリムの兄弟たちよ、アラブに伝わる寓話の中に、深い教訓を含む物語がある。それは**三頭の牛とライオンの物語**だ。白い牛、赤い牛、黒い牛が一緒に暮らし、団結している限り安全だった。なぜならライオンは彼らに近づく勇気がなかったからだ。しかし、ライオンが彼らの間に不和と欺瞞を蒔くと、一頭ずつ倒すことができた。最後の牛は食われる前にこう言った：「白い牛が食われた日に、私は食われたのだ。」

アッラーの僕たちよ、敵は団結した共同体には勝てない。しかし、それが分裂していると見つけると、一つずつ征服していく。

今日、我々の現実の中で、「ダビデのライオン」と呼ばれるもの、つまりイスラエルが、破壊と攻撃を繰り返しているのを見る。ガザを包囲し、レバノンを爆撃し、シリアを攻撃し、過去数ヶ月でイエメンとイランにも襲いかかった。これらすべてが、ムスリム共同体が沈黙し、分裂している中で起こっている。もし各々の国が「これは私の問題ではない」と言うなら、誰も安全ではいられないだろう。

アッラーの使徒（彼に平安と祝福あれ）はこう言った：「信者たちの愛、慈悲、共感のたとえは一つの体のようなものだ。その一部が苦しむと、全体が不眠と発熱でそれに応える」（ムスリムによる伝承）。

この共同体の体の一部であるパレスチナとガザが苦しんでいるのに、私たちが沈黙し、無関心でいることは許されるのか？ 沈黙は裏切りであり、分裂は破滅だ。我々の救いは、団結とアッラーの綱を共にしっかりと握ることだけにある。

私はこれを言い、自分とあなた方、そしてすべてのムスリムのためにすべての罪の赦しをアッラーに求める。彼の赦しを求めなさい、彼は最も赦す者、最も慈悲深い者だからだ。

第二の説教

すべての称賛はアッラーの恩恵に対するものであり、彼の導きと恩恵に感謝する。私は、アッラー以外に崇拜に値する神はない、彼は唯一で共同者を持たないと証言し、ムハンマドが彼の僕であり使徒であり、彼の満足を招く者であると証言する。アッラーよ、彼とその家族、仲間、兄弟たちに祝福と平安と恩恵を受けたまえ。

さて、アッラーの僕たちよ。アッラーの使徒（彼に平安と祝福あれ）からの真正なハディースは、最後の時代にマフディについて言及している。預言者の家系から出る男で、全能のアッラーが彼を遣わし、抑圧と不正で満ちた地を正義と公平で満たし、共同体の団結を導く。

だが知っておきなさい、マフディは今日の我々の義務を代替するものではない。彼はレンガを結ぶモルタルのようなものであり、あなた方一東から西までのムスリム共同体ーがそのレンガである。もしレンガが散らばり、分裂していたら、彼は何をまとめるのか？しかし、レンガが整然と団結していれば、マフディはアッラーの許しのもと、それらを強化し固めるためにやってくる。

だから、「マフディが現れたら団結する」などと言わないでほしい。今日、団結しなさい。未来を待って立ち上がるのではなく、今立ち上がりなさい。今日、ガザを支援しなさい。今日、パレスチナを守りなさい。レバノン、シリア、イエメン、イラン、そして攻撃されているすべてのムスリムの地と共にあれ。

世界中のムスリムよ、東も西も、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカにおいて、あなた方の義務は祈りや同情だけで終わるものではない。政治的に行動し、実際的な姿勢を政府に要求しなければならない一軍隊でなくとも、外交で、力でなくとも、ボイコット、制裁、政治的・経済的圧力で。これらはすべて抑圧された者を支援する手段だ。

全能のアッラーはこう仰る：「まことに、アッラーは人々が自分自身の中にあるものを変えるまで、彼らの状態を変えない」（アル・ラアド：11）。

ムスリムよ、悔い改め、改革、団結へと急ぎなさい。アッラーの約束が来たとき、勝利と力を受けるに値する者となれるように。

アッラーよ、ムスリムの隊列を一つにし、彼らの心を和解させ、真理において彼らの言葉を統一したまえ、万物の主よ。アッラーよ、ガザ、パレスチナ、そしてすべてのムスリムの地で抑圧された者に勝利を授けたまえ。アッラーよ、彼らの心を強くし、彼らの足取りを確かなものとし、汝の敵であり彼らの敵に対する勝利を受けたまえ。アッラーよ、シオニストの企みを彼ら自身に跳ね返らせ、その策略を彼らに降りかからせたまえ、力強い者よ、崇高な者よ。

そして、アッラーが我々に祈り、平安を送るよう命じた者に祝福と平安を送りなさい。彼、崇高な者がこう仰ったように：「まことに、アッラーとその天使たちは預言者に祝福を送る。信仰する者よ、彼に祝福を送り、完全な挨拶で彼に平安を願え」（アル・アハザブ：56）。

アッラーよ、われらの預言者ムハンマドとその家族、すべての仲間に祝福と平安と恩恵を授けたまえ。正しく導かれたカリフたち、すべての仲間、そしてあなたの慈悲によってわれらとともに満足したまえ、慈悲深い者の中の最も慈悲深き者よ。

アッラーの僕たちよ、まことに、アッラーは正義、善行、親族への施しを命じ、不道徳、悪、抑圧を禁じる。彼はあなた方に訓戒を与える、思い出させるために。偉大で崇高なアッラーを思い出しなさい、そうすれば彼はあなた方を思い出す。彼の恩恵に感謝しなさい、そうすれば彼はそれを増やす。アッラーの想起は最も偉大であり、アッラーはあなた方の行いを知っている。